

地区連絡所への連絡

落ち着いて、わかっている範囲の内容を伝えましょう。



5つの手順

手順① 報告内容の準備

手順② 通信手段の確保

手順③ 地区連絡所へ報告

手順④ 地区連絡所から情報収集

手順⑤ 避難所内での広報

手順① 報告内容の準備

地区及び避難所の情報収集・整理をします。

- 職員の参集状況の確認
- 施設の安全確認結果の整理
- 避難者の大まかな人数の把握
- 参集途上においての地区内の被害状況、その他
災害情報の把握
- 応援要請が必要かを判断

5つの手順

手順① 報告内容の準備

手順② 通信手段の確保

手順③ 地区連絡所へ報告

手順④ 地区連絡所から情報収集

手順⑤ 避難所内での広報

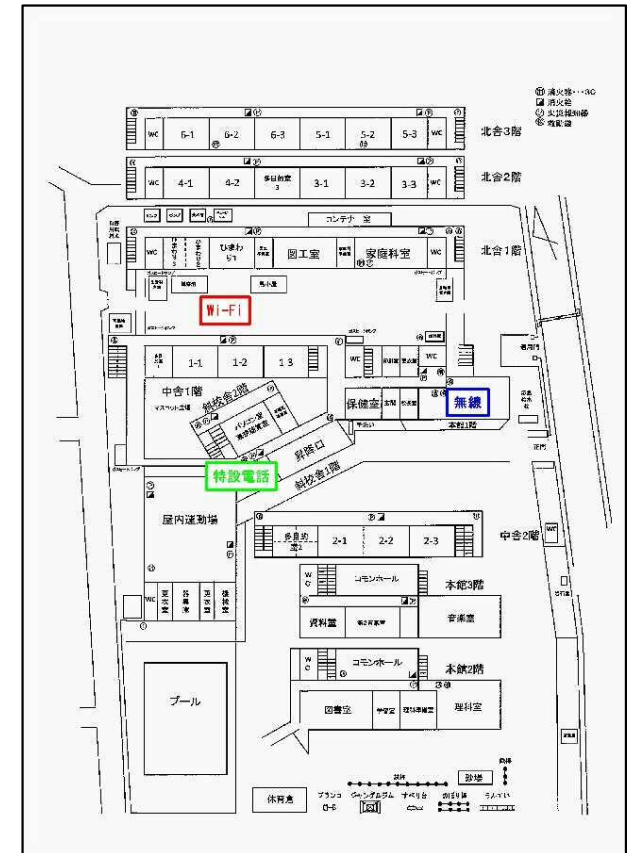
手順② 通信手段の確保

地区連絡所との通信を確保します。

- 防災無線の開設
- 特設公衆電話の設置
- 防災Wi-Fiの設置

上記のいずれかの設備で地区連絡所との通信を確保します。

位置は平面図参照。



防災無線を開設します。

職員室内に防災無線が設置されているので、地区連絡所へ通信し、開設します。

(無線番号については、一覧表を参照)



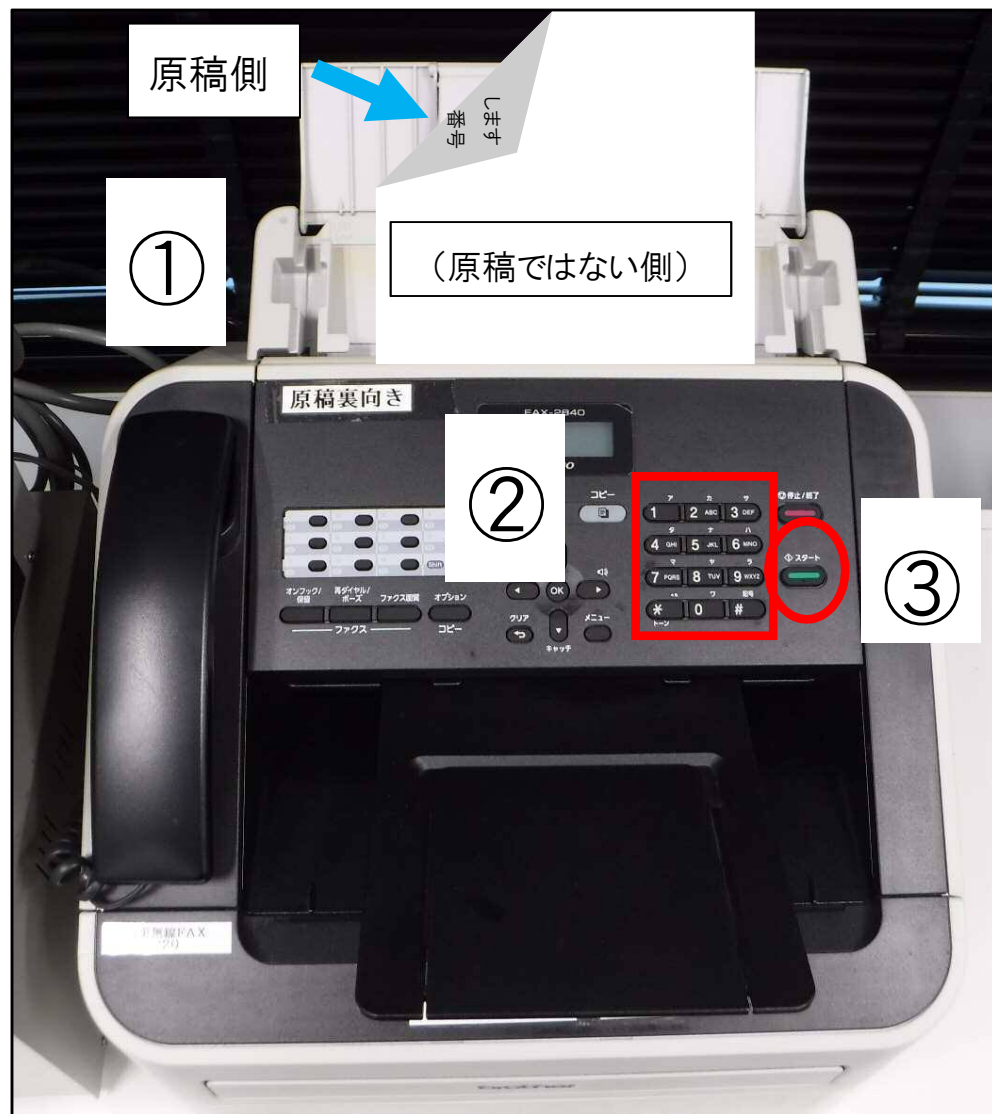
●無線の使用方法

※注 ここは使用しません。



- ① 相手方の呼出番号を押します。
- ② 確定を押します。
相手方が応答し、通話が始まります。
- ③ 解除を押します。
通話が終了します。

●FAXの使用方法



- ① 原稿をセットします。
(原稿側を裏にします。)
- ② 相手方の番号を押します。
- ③ スタートを押します。
原稿の読み取りが始まります。
- ④ 送信が正常に終われば、終了音が鳴動し、送信が異常だった場合はエラー音が鳴動します。
エラーの場合は、何回か繰り返します。

特設公衆電話(発信専用)を設置します。

屋内運動場付近にある収納箱を開け、使用方法を参照し、設置します。

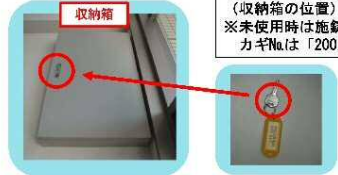


特設公衆電話
収納箱


特設公衆電話使用方法

- 準備**

収納箱を開けます。
(収納箱の位置) 特設公衆電話設置図参照
※未使用時は施錠してあります。
カギNoは「200」


- ケーブル及び電話機の取り出しと接続**

収納箱内にある電話機の袋(A)から電話機を取り出し、電話機(B)の部分と差込口(C)を接続。



※避難所の規模により、電話機及び差込口が2個ある場合があります。
- 通話テスト**

特設公衆電話を使用し、通話テストを行う。
通話テスト先 危機管理課 (28-8959) へ電話をお願いします。
- 終了**

片づけをし、**収納箱を施錠**してください。

5つの手順

手順① 報告内容の準備

手順② 通信手段の確保

手順③ 地区連絡所へ報告

手順④ 地区連絡所から情報収集

手順⑤ 避難所内での広報

手順③ 地区連絡所へ報告

避難所の現状を地区連絡所に報告します。

- **職員の参集状況を報告** 例)○人中△人参集しています。
- **施設の安全確認結果を報告**
例)屋内運動場使用できます。/できません。 代替で○○教室を使います。
- **避難者の大まかな人数を報告** 例)約○○人校庭にいます。
- **参集途上における地区内の被害状況、その他の災害情報の把握** 例)△△付近の道路が陥没しています。
- **応援要請が必要かを判断**

※参集状況及び避難者数を考慮しつつ必要かを判断してください。

5つの手順

手順① 報告内容の準備

手順② 通信手段の確保

手順③ 地区連絡所へ報告

手順④ 地区連絡所から情報収集

手順⑤ 避難所内での広報

手順④ 地区連絡所から情報収集

地区連絡所へ連絡した際に情報を集めます。

- **地区の被害状況について**
※災害の規模、地区に影響がある被害の有無
- **支援体制について**
※避難所への支援(人的・物的)の状況
※病院及び救護所や応急給水等の状況
- **ライフラインの状況について**
※電力、水道及び道路の状況
- **救援・義援物資について**
※避難所に不足している物資の調達

5つの手順

手順① 報告内容の準備

手順② 通信手段の確保

手順③ 地区連絡所へ報告

手順④ 地区連絡所から情報収集

手順⑤ 避難所内での広報

手順⑤ 避難所内での広報

避難者が混乱しないよう、状況を見ながら情報を伝えます。

広報例

- 手順④で確認できたこと
- コンビニ、スーパー等の開店状況
- その他必要なこと